

快挙！ 野球部 全国大会出場決定！

10月22日（土）23日（日）あじさいスタジアム北神戸にて第56回兵庫県中学校新人大会が行われ、野球部が接戦を制し優勝、11月26日（土）27日（日）尼崎市ベイコム野球場において開催される近畿秋季少年大会、3月に静岡県で行われる全日本少年春季大会への出場権を獲得しました。全国大会への出場は揖龍地区野球部の悲願であり、新宮中における団体競技での出場は1997年の剣道部男子以来の歴史的快挙です。近畿大会、全国大会での健闘を祈ります。

軟式野球

県中学校新人大会

軟式野球の第56回兵庫県中学校新人大会（神戸新聞社後援）最終日は23

新宮 競り勝ち初V

日、神戸市北区のあじさいスタジアム北神戸で準決勝と決勝が行われ、決勝は新宮（西播）が5-4で甲陵（阪神）に競り勝ち、初優勝を飾った。

準決勝は新宮が8-0で三原（淡路）に圧勝し、甲陵も豊岡北（但馬）を8-0で圧倒した。決勝は3-3の七回、新宮が家納の三ゴロと新

最終七回、1点差に迫られながらも死三塁で、新宮の加藤監督はタイムをとって選手を集めた。「勝負から逃げたら面白くない」。うなずいた捕手家納は右腕木村に真っすぐを要求。外角を狙って腕を振った一球は内に入ったが、打ち損じを誘い、ナインは初優勝の歓喜に浸った。

部員14人だが、エースで4番の吉良山を擁し、二塁の確井主将ら内野陣は手堅い。近畿と全国大会に向け、家納は「人数は関係ない。チャンスはある」と腕試しを心待ちにする。（有島弘記）

三原・井上璃一主将（第3位）準決勝での大敗に、「気持ちが悪目だった。初回に打たれて雰囲気下がりが、守備でもミスから点を取られてしまった。これからの目標は県大会優勝。互いに声をかけ合い、向上していきたいチームにしたい」

家納は攻めても3打点。三回一死満塁の先制機に「エンドランのサインだった。ゴロを転がそうと思った」と、高めの直球を上からたたいたことで左方向へのライナーとなり、走者2人をかえした。サインに応じたミ

トは指揮官がこだわる技術で、大会前に重点的に練習していた家納は七回にもベンチの指示通りに三ゴロを放ち、勝ち越し点を奪った。

コツコツ1点を奪った（第3位）準決勝での大敗に、「気持ちが悪目だった。初回に打たれて雰囲気下がりが、守備でもミスから点を取られてしまった。これからの目標は県大会優勝。互いに声をかけ合い、向上していきたいチームにしたい」

部員14人 真っ向勝負



新宮一甲陵 初優勝を決めて笑顔の新宮ナイン

田の右前打で2点を勝ち越し、直後の甲陵の反撃を磯野の左前適時打1本でしのいだ。新宮と甲陵は近畿秋季少年大会（11月26、27日・尼崎市ベイコム野球場）の出場が決定。優勝した新宮は来年3月開幕の全日本少年春季大会（静岡県）の切符も手にした。

▽準決勝	新宮（西播）	20004002	08
	三原（淡路）	00000002	08
	（新）吉良山、木村、小田		
	家納（三）木下、村上、井上		
	甲陵（阪神）	00210140	08
	（豊岡北）（但馬）	00000000	08
	（甲）琴浦、吉村（豊）土肥、		
	総質一藤田		
▽決勝	新宮	00300002	45
	甲陵	00200101	45

新宮	5	4	甲	陵	点
【新】	【宮】	【打】	【安】	【点】	
①	木	村	10	0	0
②	三	村	10	0	0
③	家	納	10	0	0
④	吉	田	10	0	0
⑤	小	山	10	0	0
⑥	新	田	10	0	0
⑦	確	井	10	0	0
⑧	重	磯	10	0	0
⑨	磯	野	10	0	0
⑩	野	部	10	0	0
振	球	員	10	0	0
6	9	1	0	0	0

【甲】	【陵】	【打】	【安】	【点】
①	松	3	0	2
②	磯	4	2	0
③	石	3	0	0
④	吉	3	0	0
⑤	吉	3	0	0
⑥	和	3	0	0
⑦	中	3	0	0
⑧	小	3	0	0
⑨	真	3	0	0
⑩	渡	3	0	0
振	球	3	0	0
4	2	1	0	0

▽3	甲	4	甲	点
甲	新	4	新	点
▽3	家	4	家	点
▽2	吉	4	吉	点
▽2	田	4	田	点
▽1	部	4	部	点
木	員	4	員	点
村	1	4	村	点

2022年(令和4年)

10月24日 月曜日

神戸新聞